

〔回答集計結果の概要〕

～ 全体集計・規模別・地域別にみた「私立大学の12の特色」 ～

1. アドミッション・ポリシー

特色1 「建学の精神」を組織的に教育している

○地域・規模にかかわらず**80%以上**の大学で、組織的に「建学の精神」が教育されている。

Q1-1 貴学では、建学の理念（精神）を学生に教えるための取り組みが組織的に行われていますか。

- 1 全学的に行われている
- 2 過半数の学部・学科で行われている
- 3 一部の学部・学科のみで行われている
- 4 特別な取り組みは行われていない

規模別	1		2		3		4		N
回答校全体	366	83.0%	5	1.1%	10	2.3%	60	13.6%	441
超小規模校	117	89.3%	1	0.8%	2	1.5%	11	8.4%	131
小規模校	101	82.8%	2	1.6%	3	2.5%	16	13.1%	122
中規模校	100	77.5%	2	1.6%	2	1.6%	25	19.4%	129
大規模校	48	81.4%	0	0%	3	5.1%	8	13.6%	59

地域別	1		2		3		4		N
回答校全体	366	83.0%	5	1.1%	10	2.3%	60	13.6%	441
北海道・東北	35	89.7%	1	2.6%	1	2.6%	2	5.1%	39
北関東・甲信越	21	84.0%	2	8.0%	0	0%	2	8.0%	25
東京	73	79.3%	1	1.1%	5	5.4%	13	14.1%	92
南関東	44	91.7%	0	0%	0	0%	4	8.3%	48
北陸・東海	54	84.4%	0	0%	0	0%	10	15.6%	64
近畿	72	78.3%	0	0%	1	1.1%	19	20.7%	92
中国・四国・九州	67	82.7%	1	1.2%	3	3.7%	10	12.3%	81

特色2 「入試科目数」に対する問題意識が高い

- 一般入試は「2科目」で実施している大学が最も多い反面、約**90%**が「3科目」以上を理想としている。
- 入試の現状を踏まえ、より質を高めようとする問題意識が見られる。

Q5-2 貴学の一般入試科目数は何科目ですか。学部によって異なる場合は最も一般的な科目数をお答えください。

- 1 5科目以上
- 2 4科目
- 3 3科目
- 4 2科目以下

規模別	1		2		3		4		N
回答校全体	15	3.4%	29	6.6%	190	43.2%	206	46.8%	440
超小規模校	5	3.8%	14	10.8%	35	26.9%	76	58.5%	130
小規模校	5	4.1%	7	5.7%	38	31.1%	72	59.0%	122
中規模校	4	3.1%	7	5.4%	66	51.2%	52	40.3%	129
大規模校	1	1.7%	1	1.7%	51	86.4%	6	10.2%	59

地域別	1		2		3		4		N
回答校全体	15	3.4%	29	6.6%	190	43.2%	206	46.8%	440
北海道・東北	2	5.1%	1	2.6%	19	48.7%	17	43.6%	39
北関東・甲信越	0	0%	1	4.0%	7	28.0%	17	68.0%	25
東京	4	4.3%	10	10.9%	58	63.0%	20	21.7%	92
南関東	2	4.2%	3	6.3%	20	41.7%	23	47.9%	48
北陸・東海	1	1.6%	5	7.8%	24	37.5%	34	53.1%	64
近畿	3	3.3%	6	6.6%	35	38.5%	47	51.6%	91
中国・四国・九州	3	3.7%	3	3.7%	27	33.3%	48	59.3%	81

Q5-3 一般に大学入学者の学力を担保するためには、入試科目は何科目が適正だとお考えですか。

- 1 5科目以上
- 2 4科目
- 3 3科目
- 4 2科目以下

規模別	1		2		3		4		N
回答校全体	53	12.1%	67	15.3%	265	60.5%	53	12.1%	438
超小規模校	14	10.8%	29	22.3%	63	48.5%	24	18.5%	130
小規模校	21	17.5%	17	14.2%	67	55.8%	15	12.5%	120
中規模校	11	8.5%	18	14.0%	87	67.4%	13	10.1%	129
大規模校	7	11.9%	3	5.1%	48	81.4%	1	1.7%	59

地域別	1		2		3		4		N
回答校全体	53	12.1%	67	15.3%	265	60.5%	53	12.1%	438
北海道・東北	3	7.7%	6	15.4%	29	74.4%	1	2.6%	39
北関東・甲信越	2	8.0%	4	16.0%	12	48.0%	7	28.0%	25
東京	12	13.3%	16	17.8%	59	65.6%	3	3.3%	90
南関東	7	14.9%	6	12.8%	24	51.1%	10	21.3%	47
北陸・東海	8	12.5%	10	15.6%	40	62.5%	6	9.4%	64
近畿	7	7.6%	13	14.1%	59	64.1%	13	14.1%	92
中国・四国・九州	14	17.3%	12	14.8%	42	51.9%	13	16.0%	81

特色3 リメディアル教育・初年次教育が多くの大学で実施されている

○入学者の学力不足を補う「リメディアル教育」を実施している大学は約70%弱。規模が大きいほど実施割合が高い。

Q7-1 入学初期段階におけるリメディアル教育（補習教育）は、実施されていますか。

- 1 全学的に実施している
- 2 過半数の学部・学科で実施している
- 3 一部の学部・学科のみで実施している
- 4 まったく実施していない

規模別	1		2		3		4		N
回答校全体	129	29.4%	31	7.1%	133	30.3%	146	33.3%	439
超小規模校	44	33.8%	6	4.6%	32	24.6%	48	36.9%	130
小規模校	34	28.1%	5	4.1%	29	24.0%	53	43.8%	121
中規模校	34	26.4%	18	14.0%	40	31.0%	37	28.7%	129
大規模校	17	28.8%	2	3.4%	32	54.2%	8	13.6%	59

地域別	1		2		3		4		N
回答校全体	129	29.4%	31	7.1%	133	30.3%	146	33.3%	439
北海道・東北	11	28.2%	2	5.1%	13	33.3%	13	33.3%	39
北関東・甲信越	11	44.0%	3	12.0%	4	16.0%	7	28.0%	25
東京	25	27.2%	7	7.6%	27	29.3%	33	35.9%	92
南関東	19	40.4%	1	2.1%	11	23.4%	16	34.0%	47
北陸・東海	17	26.6%	4	6.3%	26	40.6%	17	26.6%	64
近畿	21	23.1%	8	8.8%	28	30.8%	34	37.4%	91
中国・四国・九州	25	30.9%	6	7.4%	24	29.6%	26	32.1%	81

○入学者の学習意欲・学習姿勢などを高める「初年次教育」を実施している大学は85%以上。南関東での実施割合が高い。

Q8-1 貴学では高等学校からの円滑な移行を支援し、大学における学問的・社会的な諸経験を成功させるため、新入生を対象とした総合的な教育プログラムである初年次教育（導入教育）を実施されていますか。

- 1 全学的に実施している
- 2 過半数の学部・学科で実施している
- 3 一部の学部・学科のみで実施している
- 4 まったく実施していない

規模別	1		2		3		4		N
回答校全体	283	64.2%	44	10.0%	53	12.0%	61	13.8%	441
超小規模校	91	69.5%	3	2.3%	8	6.1%	29	22.1%	131
小規模校	86	70.5%	8	6.6%	12	9.8%	16	13.1%	122
中規模校	80	62.0%	18	14.0%	19	14.7%	12	9.3%	129
大規模校	26	44.1%	15	25.4%	14	23.7%	4	6.8%	59

地域別	1		2		3		4		N
回答校全体	283	64.2%	44	10.0%	53	12.0%	61	13.8%	441
北海道・東北	25	64.1%	4	10.3%	4	10.3%	6	15.4%	39
北関東・甲信越	20	80.0%	2	8.0%	0	0%	3	12.0%	25
東京	50	54.3%	11	12.0%	18	19.6%	13	14.1%	92
南関東	38	79.2%	3	6.3%	5	10.4%	2	4.2%	48
北陸・東海	36	56.3%	11	17.2%	7	10.9%	10	15.6%	64
近畿	61	66.3%	7	7.6%	8	8.7%	16	17.4%	92
中国・四国・九州	53	65.4%	6	7.4%	11	13.6%	11	13.6%	81

2. カリキュラム・ポリシー

特色4 「教養教育」が適切に位置づけられている

- 「教養教育」が適切に位置づけられている大学は約95%弱。
- 「南関東」「北関東・甲信越」など都市部で適切に定められている大学が多い。

Q9 貴学における教養科目、体育科目、日本語および外国語のコミュニケーション科目は、専門教育科目との関連で適切に位置づけられていますか。

- 1 適切に位置づけられている
- 2 ある程度適切に位置づけられている
- 3 あまり適切に位置づけられていない
- 4 適切に位置づけられていない

規模別	1		2		3		4		N
回答校全体	177	40.3%	234	53.3%	27	6.2%	1	0.2%	439
超小規模校	63	48.1%	64	48.9%	4	3.1%	0	0%	131
小規模校	47	38.8%	63	52.1%	11	9.1%	0	0%	121
中規模校	45	35.2%	73	57.0%	9	7.0%	1	0.8%	128
大規模校	22	37.3%	34	57.6%	3	5.1%	0	0%	59

地域別	1		2		3		4		N
回答校全体	177	40.3%	234	53.3%	27	6.2%	1	0.2%	439
北海道・東北	15	38.5%	22	56.4%	2	5.1%	0	0%	39
北関東・甲信越	13	52.0%	10	40.0%	2	8.0%	0	0%	25
東京	36	39.6%	50	54.9%	5	5.5%	0	0%	91
南関東	26	54.2%	20	41.7%	2	4.2%	0	0%	48
北陸・東海	22	34.4%	37	57.8%	5	7.8%	0	0%	64
近畿	38	41.3%	47	51.1%	7	7.6%	0	0%	92
中国・四国・九州	27	33.8%	48	60.0%	4	5.0%	1	1.3%	80

特色5 「専門的知識・技術」や「社会人としての基礎能力」を重視

- 現代社会のニーズに応えるため、「専門的知識・技術」を重視している大学は**約90%**。特に北海道・東北、中国・四国・九州では**95%**を超えている。
- 「社会人としての基礎能力」を重視している大学は**約75%**。東京、近畿では**60%台**に留まるものの、地方部では**約80%**が重視している。
- 東京では、「外国語コミュニケーション能力」の重視する割合が高い。一方、北海道・東北、中国・四国・九州では「日本語コミュニケーション能力」を重視する割合が高い。

Q2-2 現代社会の要請に応えるため、具体的な科目設定を行うなど特に重視している点は何ですか。〔複数回答可〕

- 1 専門的知識・技術の教育
- 2 日本語コミュニケーション能力の育成
- 3 英語等外国語コミュニケーション能力の育成
- 4 社会人としての基礎能力の育成
- 5 全般的な教養教育
- 6 身体の鍛錬のための体育教育
- 7 その他

規模別	1		2		3		4		5		6		7		N
回答校全体	397	90.2%	246	55.9%	265	60.2%	332	75.5%	280	63.6%	83	18.9%	56	12.7%	440
超小規模校	114	87.7%	73	56.2%	72	55.4%	91	70.0%	66	50.8%	13	10.0%	10	7.7%	130
小規模校	111	91.0%	74	60.7%	68	55.7%	91	74.6%	83	68.0%	25	20.5%	14	11.5%	122
中規模校	118	91.5%	72	55.8%	75	58.1%	104	80.6%	81	62.8%	29	22.5%	21	16.3%	129
大規模校	54	91.5%	27	45.8%	50	84.7%	46	78.0%	50	84.7%	16	27.1%	11	18.6%	59

地域別	1		2		3		4		5		6		7		N
回答校全体	397	90.2%	246	55.9%	265	60.2%	332	75.5%	280	63.6%	83	18.9%	56	12.7%	440
北海道・東北	38	97.4%	24	61.5%	22	56.4%	31	79.5%	24	61.5%	8	20.5%	3	7.7%	39
北関東・甲信越	20	80.0%	12	48.0%	13	52.0%	20	80.0%	13	52.0%	1	4.0%	4	16.0%	25
東京	79	85.9%	49	53.3%	70	76.1%	64	69.6%	66	71.7%	21	22.8%	13	14.1%	92
南関東	41	85.4%	28	58.3%	28	58.3%	38	79.2%	29	60.4%	12	25.0%	5	10.4%	48
北陸・東海	56	87.5%	36	56.3%	36	56.3%	52	81.3%	39	60.9%	11	17.2%	5	7.8%	64
近畿	85	93.4%	43	47.3%	54	59.3%	63	69.2%	56	61.5%	18	19.8%	14	15.4%	91
中国・四国・九州	78	96.3%	54	66.7%	42	51.9%	64	79.0%	53	65.4%	12	14.8%	12	14.8%	81

特色6 「単位制の実質化」に向けて工夫している

○**95%以上**の大学が単位制の趣旨を踏まえ、その充実に向けて努力している。とりわけ中国・四国・九州では、「かなり工夫している」が**約45%**。

Q14-1 貴学では、単位制の実質化*1のために、何らかの工夫を行っていますか。

- 1 かなり工夫している
- 2 ある程度工夫している
- 3 あまり工夫していない
- 4 まったく工夫していない

規模別	1		2		3		4		N
回答校全体	157	35.7%	265	60.2%	16	3.6%	2	0.5%	440
超小規模校	53	40.5%	68	51.9%	8	6.1%	2	1.5%	131
小規模校	45	37.2%	72	59.5%	4	3.3%	0	0%	121
中規模校	43	33.3%	82	63.6%	4	3.1%	0	0%	129
大規模校	16	27.1%	43	72.9%	0	0%	0	0%	59

地域別	1		2		3		4		N
回答校全体	157	35.7%	265	60.2%	16	3.6%	2	0.5%	440
北海道・東北	12	30.8%	26	66.7%	0	0%	1	2.6%	39
北関東・甲信越	8	32.0%	15	60.0%	2	8.0%	0	0%	25
東京	31	33.7%	56	60.9%	5	5.4%	0	0%	92
南関東	17	36.2%	29	61.7%	1	2.1%	0	0%	47
北陸・東海	23	35.9%	37	57.8%	4	6.3%	0	0%	64
近畿	28	30.4%	60	65.2%	3	3.3%	1	1.1%	92
中国・四国・九州	38	46.9%	42	51.9%	1	1.2%	0	0%	81

*1 本設問でいう「単位制の実質化」とは、単なる授業時間数の事ではなく、単位制の趣旨を踏まえた授業や学習の質を充実させる取り組み全般を指すもの。

○具体的な内容では、「1学期 15 週の確保」が、**北陸・東海、中国・四国・九州で 100%**、「出席回数の厳格な調査」が**中国・四国・九州で 80%**と地方の健闘が目立つ。

Q14-2 <Q14-1 で1または2と回答された大学にのみ質問>単位制の実質化のためにどのような工夫をしていますか。〔複数回答可〕

- 1 1学期15週、あるいはそれに近い授業時間を確保している*²
- 2 教室外の学修を励行している（予復習の課題など）*³
- 3 学生の出席回数を厳格に調査している
- 4 履修単位の上限設定（キャップ制）を行っている
- 5 その他

規模別	1		2		3		4		5		N
回答校全体	404	95.7%	140	33.2%	278	65.9%	287	68.0%	35	8.3%	422
超小規模校	116	95.9%	34	28.1%	91	75.2%	64	52.9%	10	8.3%	121
小規模校	115	98.3%	34	29.1%	87	74.4%	74	63.2%	8	6.8%	117
中規模校	117	93.6%	49	39.2%	76	60.8%	95	76.0%	7	5.6%	125
大規模校	56	94.9%	23	39.0%	24	40.7%	54	91.5%	10	16.9%	59

地域別	1		2		3		4		5		N
回答校全体	404	95.7%	140	33.2%	278	65.9%	287	68.0%	35	8.3%	422
北海道・東北	36	94.7%	9	23.7%	26	68.4%	22	57.9%	5	13.2%	38
北関東・甲信越	21	91.3%	6	26.1%	15	65.2%	14	60.9%	2	8.7%	23
東京	80	92.0%	34	39.1%	46	52.9%	64	73.6%	9	10.3%	87
南関東	44	95.7%	18	39.1%	32	69.6%	32	69.6%	6	13.0%	46
北陸・東海	60	100%	21	35.0%	42	70.0%	41	68.3%	3	5.0%	60
近畿	83	94.3%	25	28.4%	53	60.2%	65	75.0%	3	3.4%	88
中国・四国・九州	80	100%	27	33.8%	64	80.0%	49	61.3%	7	8.8%	80

*² 本選択肢は、中教審答申「学士課程教育の構築に向けて」における学習時間・授業時間に関する指摘（P20～22）」を踏まえた授業改善を尋ねるもの。

*³ 本選択肢の「教室外の学習の励行」とは、学習時間や学習量の問題ではなく、教育目標や授業目標に則した適切な課題を学生に提示するとともに、全学生がこれに自発的に応えるよう努めているかを指すもの。

3. ティフロマ・ポリシー

特色7 組織的に「学習成果の評価」が行われている

- 「学習成果の評価」を、教員個々に委ねているのではなく、何らかの形で組織的に実施している大学は約 **60%**と改善に努力。
- その反面、**超小規模校、小規模校では 40%以上**が「教員個々に委ねている」と回答。
- ⇒「学習成果の評価」の更なる充実に向けて、人的・財政的支援を含めた総合的な支援策が必要。

Q16-1 貴学において、学習成果の評価は、教員間の共通理解のもとで組織的に行われていますか。

- 1 全学的に行われている
- 2 過半数の学部・学科で行われている
- 3 一部の学部・学科のみで行われている
- 4 教員個々人に委ねている

規模別	1		2		3		4		N
回答校全体	162	36.9%	25	5.7%	77	17.5%	175	39.9%	439
超小規模校	54	41.5%	2	1.5%	11	8.5%	63	48.5%	130
小規模校	48	39.7%	5	4.1%	14	11.6%	54	44.6%	121
中規模校	47	36.4%	11	8.5%	28	21.7%	43	33.3%	129
大規模校	13	22.0%	7	11.9%	24	40.7%	15	25.4%	59

地域別	1		2		3		4		N
回答校全体	162	36.9%	25	5.7%	77	17.5%	175	39.9%	439
北海道・東北	15	38.5%	2	5.1%	3	7.7%	19	48.7%	39
北関東・甲信越	13	52.0%	1	4.0%	2	8.0%	9	36.0%	25
東京	36	39.6%	5	5.5%	20	22.0%	30	33.0%	91
南関東	20	42.6%	3	6.4%	4	8.5%	20	42.6%	47
北陸・東海	21	32.8%	2	3.1%	14	21.9%	27	42.2%	64
近畿	26	28.3%	5	5.4%	23	25.0%	38	41.3%	92
中国・四国・九州	31	38.3%	7	8.6%	11	13.6%	32	39.5%	81

○「共通の成績基準を設定」では、**南関東約 90%、東京約 75%**と他の地域より高い実施率。

Q16-2 <Q16-1 で1、2、3のいずれかに回答された大学にのみ質問> 教員間の共通理解はどのような方法で行われていますか。〔複数回答可〕

- 1 共通の成績基準を設定している
- 2 担当教員の打ち合わせを行っている
- 3 その他

規模別	1		2		3		N
回答校全体	161	61.5%	192	73.3%	22	8.4%	262
超小規模校	40	60.6%	46	69.7%	5	7.6%	66
小規模校	41	62.1%	46	69.7%	5	7.6%	66
中規模校	48	55.8%	65	75.6%	8	9.3%	86
大規模校	32	72.7%	35	79.5%	4	9.1%	44

地域別	1		2		3		N
回答校全体	161	61.5%	192	73.3%	22	8.4%	262
北海道・東北	11	55.0%	12	60.0%	3	15.0%	20
北関東・甲信越	9	56.3%	9	56.3%	2	12.5%	16
東京	45	73.8%	46	75.4%	8	13.1%	61
南関東	24	88.9%	21	77.8%	0	0%	27
北陸・東海	21	58.3%	28	77.7%	3	8.3%	36
近畿	26	49.1%	43	81.1%	1	1.9%	53
中国・四国・九州	25	51.0%	33	67.3%	5	10.2%	49

特色 8 授業科目に加え、学生の「基本的学力」を測定・評価している

○授業科目以外での、判断力・表現力・語学力などの基本的学力を年次ごとに「共通テスト」などで測定している大学は約 15% であるものの、「検討中」「検討予定」を含めると約 **75% が学力の定期的な測定・評価に積極的**。

○特に、**中国・四国・九州では「検討予定」が約 65%**と他の地域に比べ格段と高い。

Q19-1 各授業科目の成績評価とは別に、判断力、表現力、語学力など基本的学力に関して年次ごとにあるいは定期的に測定・評価するシステムを整備していますか。

- 1 整備している
- 2 現在、整備に向け検討中である
- 3 今後、検討予定である
- 4 整備する予定はない

規模別	1		2		3		4		N
回答校全体	62	14.1%	52	11.8%	218	49.5%	108	24.5%	440
超小規模校	13	9.9%	15	11.5%	68	51.9%	35	26.7%	131
小規模校	15	12.4%	15	12.4%	62	51.2%	29	24.0%	121
中規模校	22	17.1%	15	11.6%	60	46.5%	32	24.8%	129
大規模校	12	20.3%	7	11.9%	28	47.5%	12	20.3%	59

地域別	1		2		3		4		N
回答校全体	62	14.1%	52	11.8%	218	49.5%	108	24.5%	440
北海道・東北	1	2.6%	7	17.9%	17	43.6%	14	35.9%	39
北関東・甲信越	5	20.0%	4	16.0%	9	36.0%	7	28.0%	25
東京	17	18.5%	9	9.8%	38	41.3%	28	30.4%	92
南関東	11	22.9%	4	8.3%	26	54.2%	7	14.6%	48
北陸・東海	8	12.5%	12	18.8%	29	45.3%	15	23.4%	64
近畿	13	14.3%	8	8.8%	45	49.5%	25	27.5%	91
中国・四国・九州	7	8.6%	8	9.9%	54	66.7%	12	14.8%	81

特色9 ディプロマ・ポリシーを明確に定めている

- 大学の基本的教育方針・目標（建学の精神）を踏まえた「卒業時の学力達成度」を適切に設定している大学は、「ある程度に設定」を含め **70%以上**となり、**学士課程教育のアウトカムが強く意識されている**結果となった。
- 特に、**北関東・甲信越では「適切に設定している」が約50%**と、他の地域に比べ高い。

Q21-1 貴学の教育方針・目標を達成するために、卒業時の学力達成度を設定していますか*4。

- 1 適切に設定している
- 2 ある程度適切に設定している
- 3 あまり適切に設定していない
- 4 学力達成度を設定していない

規模別	1		2		3		4		N
回答校全体	128	29.2%	180	41.0%	67	15.3%	64	14.6%	439
超小規模校	47	36.2%	44	33.8%	21	16.2%	18	13.8%	130
小規模校	30	24.8%	45	37.2%	23	19.0%	23	19.0%	121
中規模校	39	30.2%	53	41.1%	18	14.0%	19	14.7%	129
大規模校	12	20.3%	38	64.4%	5	8.5%	4	6.8%	59

地域別	1		2		3		4		N
回答校全体	128	29.2%	180	41.0%	67	15.3%	64	14.6%	439
北海道・東北	10	25.6%	14	35.9%	10	25.6%	5	12.8%	39
北関東・甲信越	12	48.0%	8	32.0%	4	16.0%	1	4.0%	25
東京	30	32.6%	46	50.0%	8	8.7%	8	8.7%	92
南関東	16	33.3%	20	41.7%	4	8.3%	8	16.7%	48
北陸・東海	14	21.9%	23	35.9%	13	20.3%	14	21.9%	64
近畿	27	30.0%	36	40.0%	11	12.2%	16	17.8%	90
中国・四国・九州	19	23.5%	33	40.7%	17	21.0%	12	14.8%	81

*4 本設問は、学部・学科毎の教育方針・目標を達成するために、あらかじめ設定される「学力達成度」に止まらず、各私立大学が掲げる「建学の精神」との関連性を持った上で、特に具体的な学力が定められているかを問うもの。

特色 10 「グローバル・スタンダード」に対する意識が高い

○学位授与条件や学習到達度について、グローバル・スタンダードや国内諸大学の標準を意識して定めている大学は 18%と少ないものの、「検討中」「検討予定」を含めると**約 80%の大学が強く意識**。

Q22-1 学位授与の条件や学習到達度は、当該学問分野のグローバル・スタンダード、あるいは国内諸大学の標準を意識して定められていますか。

- 1 意識して定めている
- 2 現在、検討中である
- 3 今後、検討予定である
- 4 定める予定はない

規模別	1		2		3		4		N
回答校全体	79	18.0%	60	13.7%	213	48.5%	87	19.8%	439
超小規模校	33	25.2%	13	9.9%	57	43.5%	28	21.4%	131
小規模校	16	13.3%	15	12.5%	58	48.3%	31	25.8%	120
中規模校	23	17.8%	17	13.2%	68	52.7%	21	16.3%	129
大規模校	7	11.9%	15	25.4%	30	50.8%	7	11.9%	59

地域別	1		2		3		4		N
回答校全体	79	18.0%	60	13.7%	213	48.5%	87	19.8%	439
北海道・東北	3	7.7%	5	12.8%	20	51.3%	11	28.2%	39
北関東・甲信越	6	24.0%	0	0%	10	40.0%	9	36.0%	25
東京	25	27.5%	16	17.6%	38	41.8%	12	13.2%	91
南関東	9	18.8%	8	16.7%	22	45.8%	9	18.8%	48
北陸・東海	11	17.2%	9	14.1%	32	50.0%	12	18.8%	64
近畿	14	15.4%	7	7.7%	48	52.7%	22	24.2%	91
中国・四国・九州	11	13.6%	15	18.5%	43	53.1%	12	14.8%	81

4. 教育の質の保証体制

特徴 11 「FDの実施体制」が「質の保証」を意識して整備されている

○「質の保証」を意識して「FD」を組織的に実施している私立大学は約**95%**。特に規模が大きくなるほど組織的な整備が進んでいる。

Q26-1 貴学において、FDの組織的实施体制は「質の保証」を十分に意識して整備されていますか。

- 1 大学全体で整備している
- 2 学部・学科等で、部分的に整備している
- 3 現在整備に向けて検討中である
- 4 まだ整備していない

規模別	1		2		3		4		N
回答校全体	377	85.7%	36	8.2%	25	5.7%	2	0.5%	440
超小規模校	107	81.7%	13	9.9%	11	8.4%	0	0%	131
小規模校	103	85.1%	10	8.3%	6	5.0%	2	1.7%	121
中規模校	110	85.3%	12	9.3%	7	5.4%	0	0%	129
大規模校	57	96.6%	1	1.7%	1	1.7%	0	0%	59

地域別	1		2		3		4		N
回答校全体	377	85.7%	36	8.2%	25	5.7%	2	0.5%	440
北海道・東北	30	76.9%	5	12.8%	4	10.3%	0	0%	39
北関東・甲信越	19	76.0%	3	12.0%	3	12.0%	0	0%	25
東京	77	83.7%	9	9.8%	5	5.4%	1	1.1%	92
南関東	40	85.1%	5	10.6%	2	4.3%	0	0%	47
北陸・東海	54	84.4%	7	10.9%	2	3.1%	1	1.6%	64
近畿	84	91.3%	2	2.2%	6	6.5%	0	0%	92
中国・四国・九州	73	90.1%	5	6.2%	3	3.7%	0	0%	81

○「FDセンターの設置」については、東京が20%と進んでいる反面、北海道・東北、北関東・甲信越では0%。
 ⇒FD実践のよい取り組みを共有し、私立大学全体の教育力を高める観点から、**地域のFD拠点の形成など地域への支援が求められる。**

Q26-2 <Q26-1 で1または2と回答された大学にのみ質問>FDに関して、
 具体的にどのような体制が作られていますか。〔複数回答可〕

- 1 FDセンターなどの機関を設置している
- 2 FD委員会などの会議体を設置している
- 3 個々の教員に委ねている
- 4 その他

規模別	1		2		3		4		N
回答校全体	56	13.6%	375	91.0%	20	4.9%	18	4.4%	412
超小規模校	7	5.8%	109	90.8%	7	5.8%	5	4.2%	120
小規模校	13	11.6%	103	92.0%	2	1.8%	7	6.3%	112
中規模校	17	13.9%	109	89.3%	7	5.7%	4	3.3%	122
大規模校	19	32.8%	54	93.1%	4	6.9%	2	3.4%	58

地域別	1		2		3		4		N
回答校全体	56	13.6%	375	91.0%	20	4.9%	18	4.4%	412
北海道・東北	0	0%	32	91.4%	0	0%	5	14.3%	35
北関東・甲信越	0	0%	22	100.0%	1	4.5%	0	0.0%	22
東京	18	20.9%	74	86.0%	6	7.0%	5	5.8%	86
南関東	6	13.3%	39	86.7%	6	13.3%	2	4.4%	45
北陸・東海	6	9.8%	58	95.1%	2	3.3%	1	1.6%	61
近畿	17	20.0%	75	88.2%	1	1.2%	3	3.5%	85
中国・四国・九州	9	11.5%	75	96.2%	4	5.1%	2	2.6%	78

○「新任専任教員の研修」「新任以外の専任教員の研修」「非常勤教員の研修」など教員研修の実施が東京、南関東で高い数値を示す一方、**地方部では教員研修がなかなか進んでいない実態が見られる。**

⇒教員の職能開発を図る観点から、地方での**教員研修の支援**が必要。

Q26-3 貴学ではFDに関して、どのような施策を実施していますか。〔複数回答可〕

- 1 授業評価の実施
- 2 授業評価結果の教員・学生への公開
- 3 新任専任教員研修の実施
- 4 新任以外の専任教員研修の実施
- 5 非常勤教員研修の実施
- 6 講演会の開催
- 7 教員相互の授業参観
- 8 教員相互の授業評価
- 9 授業検討会の開催
- 10 学外の研修会・講演会への派遣
- 11 その他

規模別	1		2		3		4		5		6	
回答校全体	418	95.7%	307	70.3%	192	43.9%	154	35.2%	40	9.2%	314	71.9%
超小規模校	118	90.8%	73	56.2%	48	36.9%	45	34.6%	9	6.9%	73	56.2%
小規模校	117	98.3%	85	71.4%	48	40.3%	43	36.1%	9	7.6%	86	72.3%
中規模校	125	96.9%	102	79.1%	57	44.2%	44	34.1%	12	9.3%	99	76.7%
大規模校	58	98.3%	47	79.7%	39	66.1%	22	37.3%	10	16.9%	56	94.9%

	7		8		9		10		11		N
回答校全体	216	49.4%	56	12.8%	133	30.4%	290	66.4%	46	10.5%	437
超小規模校	44	33.8%	21	16.2%	36	27.7%	78	60.0%	9	6.9%	130
小規模校	62	52.1%	15	12.6%	34	28.6%	76	63.9%	15	12.6%	119
中規模校	72	55.8%	13	10.1%	43	33.3%	89	69.0%	12	9.3%	129
大規模校	38	64.4%	7	11.9%	20	33.9%	47	79.7%	10	16.9%	59

地域別	1		2		3		4		5		6	
	回答校全体	418	95.7%	307	70.3%	192	43.9%	154	35.2%	40	9.2%	314
北海道・東北	38	100%	29	76.3%	13	34.2%	11	28.9%	0	0.0%	26	68.4%
北関東・甲信越	22	88.0%	16	64.0%	9	36.0%	11	44.0%	3	12.0%	13	52.0%
東京	89	97.8%	61	67.0%	52	57.1%	38	41.8%	11	12.1%	63	69.2%
南関東	46	97.9%	35	74.5%	24	51.1%	18	38.3%	7	14.9%	35	74.5%
北陸・東海	60	95.2%	42	66.7%	23	36.5%	14	22.2%	4	6.3%	47	74.6%
近畿	85	92.4%	65	70.7%	36	39.1%	27	29.3%	9	9.8%	70	76.1%
中国・四国・九州	78	96.3%	59	72.8%	35	43.2%	35	43.2%	6	7.4%	60	74.1%

	7		8		9		10		11		N
	回答校全体	216	49.4%	56	12.8%	133	30.4%	289	66.1%	46	
北海道・東北	19	50.0%	4	10.5%	12	31.6%	28	73.7%	5	13.2%	38
北関東・甲信越	7	28.0%	4	16.0%	9	36.0%	14	56.0%	0	0%	25
東京	42	46.2%	9	9.9%	25	27.5%	63	69.2%	15	16.5%	91
南関東	19	40.4%	7	14.9%	15	31.9%	27	57.4%	0	0%	47
北陸・東海	37	58.7%	9	14.3%	18	28.6%	35	55.6%	5	7.9%	63
近畿	45	48.9%	12	13.0%	26	28.3%	66	71.7%	10	10.9%	92
中国・四国・九州	47	58.0%	11	13.6%	28	34.6%	56	69.1%	11	13.6%	81

特色 12 質保証に関わる「点検・評価体制」が整備されている

- 「質の保証」に関わる新しい点検・評価体制については、大学全体で整備している大学が約70%、部分的な整備を含めると**約80%の大学が整備**している。
- 特に**東京の整備状況が約90%**と高く、他の地域を抜き出ている。

Q28-1 貴学における教育の「質の保証」にかかわる点検・評価体制は整備されていますか* 5。

- 1 大学全体で整備している
- 2 学部・学科等で、部分的に整備している
- 3 現在、整備に向け検討中である
- 4 まだ整備していない

規模別	1		2		3		4		N
回答校全体	319	72.5%	27	6.1%	74	16.8%	20	4.5%	440
超小規模校	85	65.4%	5	3.8%	31	23.8%	9	6.9%	130
小規模校	90	73.8%	12	9.8%	16	13.1%	4	3.3%	122
中規模校	99	76.7%	7	5.4%	17	13.2%	6	4.7%	129
大規模校	45	76.3%	3	5.1%	10	16.9%	1	1.7%	59

地域別	1		2		3		4		N
回答校全体	319	72.5%	27	6.1%	74	16.8%	20	4.5%	440
北海道・東北	25	64.1%	1	2.6%	11	28.2%	2	5.1%	39
北関東・甲信越	17	68.0%	3	12.0%	4	16.0%	1	4.0%	25
東京	75	81.5%	7	7.6%	8	8.7%	2	2.2%	92
南関東	34	70.8%	5	10.4%	7	14.6%	2	4.2%	48
北陸・東海	44	68.8%	3	4.7%	14	21.9%	3	4.7%	64
近畿	66	72.5%	4	4.4%	15	16.5%	6	6.6%	91
中国・四国・九州	58	71.6%	4	4.9%	15	18.5%	4	4.9%	81

* 5 本設問は、一般的な自己点検評価の実施状況ではなく、「質保証」という新しい視点から点検・評価の体制が整備されているかを問うもの。